

～次世代船舶燃料利用の実装に向けて～

**本牧ふ頭 A4岸壁を危険物積載船(次世代船舶燃料バンカリング船等)の
一時係留場所(仮バース)として運用する実証事業を開始します**

横浜市は、横浜港本牧ふ頭A4岸壁Bを、メタノールなどの次世代船舶燃料を積載する危険物積載船の一時的な係留場所である「危険物積載船向け仮バース」として運用する実証事業を開始します。

本年2月に横浜市は関係企業と連携して日本初の Ship To Ship メタノールバンカリングを横浜港内の錨地で実施^{※参考1}するなど実装に向けた取組を進めているところですが、共に船舶燃料供給(バンカリング)に取り組んだ企業の方々から、バンカリングを行う危険物積載船は、作業前後の待機、気象・海象の状況調整及び乗組員の休息などのために一時的な係留場所を必要としていると聞き、一時係留場所の設置もバンカリングの実装に向けた課題だと認識しました。

しかし、危険物積載船が一時的に係留できる仮バースは全国的に非常に少なく、円滑な燃料供給や効率的な船舶運航の支障となっています。

そこで、本取組では危険物積載船の停泊環境の改善を図り、円滑なバンカリングを推進するとともに、内航船員の労働環境の改善^{※参考2}を目指します。

実証事業を通じて利用ニーズや運用上の課題を検証し、横浜港における次世代船舶燃料供給拠点としての機能強化と、カーボンニュートラルポートの形成につなげていきます。

1 「危険物積載船向け仮バース」実証事業の概要**(1) 目的**

- ・次世代船舶燃料の円滑なバンカリング推進
- ・内航船員の労働環境の改善

(2) 一時係留場所

- ・本牧ふ頭A突堤4号岸壁B(右図)

(3) 実証期間

- ・令和8年8月3日から令和9年3月31日まで
(8月3日(月)から受付開始予定)

(4) 対象船舶

- ・危険物積載船舶のうち「危険物積載船舶の停泊場所指定及び危険物荷役許可の基準」
(平成17年10月11日保交安第49号)の別紙1^{※参考3}を遵守する船舶



裏面あり

**GREEN×EXPO 2027**
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(5) 利用方法

- ・ 申請時期：利用の1週間前から先着順
(ただし、状況によって本市が利用調整することもありますのでご了承ください)
- ・ 必要書類①：係留施設使用許可申請書
- ・ 必要書類②：危険物積載証明書
※【注意】書類②は提出必須ですが書式は任意なので「横浜港埠頭株式会社南部管理事務所」へご確認をお願いいたします。
- ・ 申請方法：電子申請、FAX、メール等

(6) その他、仮バース利用にあたり提供を求める情報

実証期間の終了後の当該バースの利用検討に向けて「船舶側の電力使用量や受電設備の状況（停泊時最大使用電力量、ソケットの仕様等）」に関する情報提供を要請する予定です。

また、実証事業が一定程度進んだ時点で、今後の利用意向や利用条件に関する調査を実施する予定です。

2 実証事業に関する問い合わせ先

(1) 実証事業全体について

横浜市港湾局政策調整課

T E L : 045-671-7165

e-mail : kw-cnp@city.yokohama.lg.jp

(2) 申請手続きについて

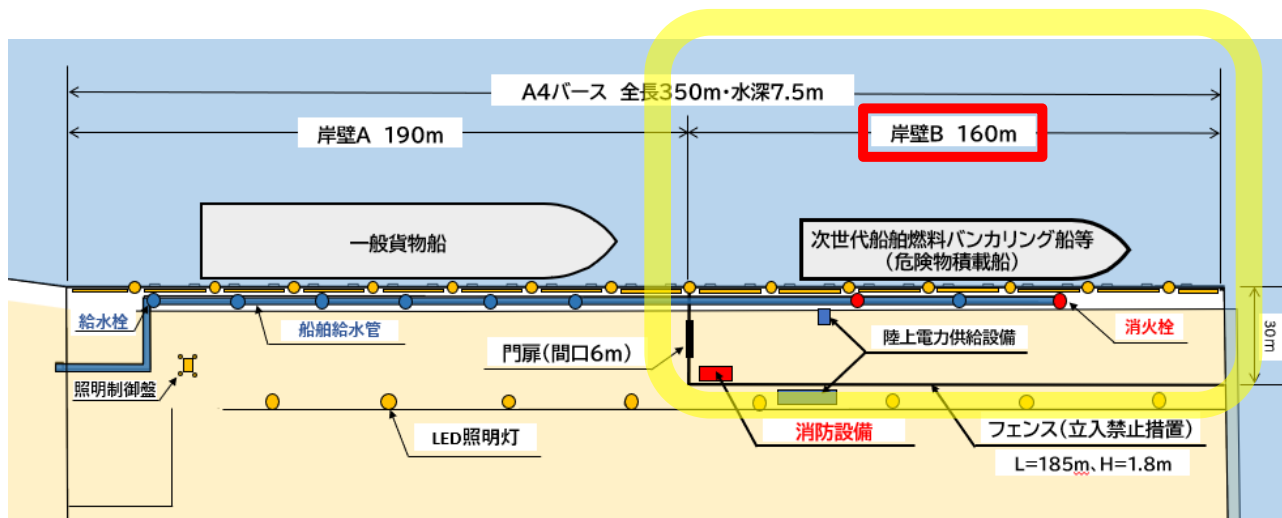
横浜港埠頭株式会社南部管理事務所

T E L : 045-621-9777

F A X : 045-621-9048

3 本牧ふ頭A突堤4号岸壁の平面図

本事業は【岸壁B】にて実施予定



次頁あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



4 日本内航海運組合総連合会 海務部長 逸見 幸利 様からのコメント

この度、横浜港関係者の皆様にご配慮いただき、「危険物積載船向け仮バース実証事業」を実施していただくことに深く感謝申し上げます。令和6年4月1日に船員法と船員職業安定法が改正・施行され、内航海運事業者は「船員の働き方改革」の推進のため、仮バースへの停泊に鋭意取り組んでおりますが、次世代船舶燃料のバンカリングにも使用される危険物積載船については着岸可能なバースの確保が困難で、港外や錨地などで錨泊を余儀なくされているのが実情です。このことは、若年船員の確保が困難な一因にもなっております。内航総連としても組合員と共に実証事業に協力し、より良い運用方法を関係者の皆様と一緒に考えてまいります。そして、実証事業後の継続運用と全国の港湾へ本取組が普及することを期待しています。

5 参考

(1) メタノールバンカリング

2026年2月、横浜市、出光興産株式会社、国華産業株式会社、株式会社商船三井、三菱ガス化学株式会社の5者が連携して、横浜港の錨地において日本初の錨地でのShip to Ship方式による船舶燃料としてのメタノールの供給を実施しました。[\(記者発表資料はこちら\)](#)



(2) 国土交通省海事局資料

[「仮バースの設定の円滑化に向けた取り組みについて（令和5年6月）」](#)

(3) 「危険物積載船舶の停泊場所指定及び危険物荷役許可の基準」別紙1

危険物接岸荷役許容量（荷役許容量の5倍までの積載であれば停泊可能）

種類	類別		荷役許容量				備考
			A	B	C 1	C 2	
爆発物	火薬類	等級1.1, 1.2, 1.5	0	5	20	20	特別の保安体制をとること
		等級1.3, 1.4, 1.6	0.2	5	20	20	
	酸化性物質	有機過酸化物	0.5	10	50	200	
その他の危険物	高压ガス	引火性高压ガス	1	20	100	400	
		非引火性非毒性高压ガス	5	100	500	2000	
		毒性高压ガス	1	20	100	400	
	引火性液体類	容器等級Ⅰ	2	50	250	1000	
		容器等級Ⅱ	5	100	500	2000	
		容器等級Ⅲ	10	250	1000	4000	
	可燃性物質類	可燃性物質	10	250	1000	4000	
		自然発火性物質	5	100	500	2000	
		水反応可燃性物質	5	100	500	2000	
	酸化性物質類	酸化性物質	5	100	500	2000	
		有機過酸化物 爆発物を除く	1	20	100	400	
危険物	毒物類	毒物	10	250	1000	4000	
	放射性物質等	第1種	0	0	—	—	特別の保安体制をとること
		第2種	0	—	—	—	
		第3種	0	—	—	—	
	腐食性物質		10	250	1000	4000	
	有害性物質		10	250	1000	4000	
	その他		—	—	—	—	(注) 3 参照

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



<お知らせ1>

「海」をテーマにした国内最大級のイベント『海洋都市横浜うみ博 2026』 8月8日(土)・9日(日)開催



うみ博2026 特設ページ

ひろげよう、きみだけの地図を

よこはま うみ博

2026

8/8(土) 9(日) 10:00~17:00

横浜市役所アトリウム、日本丸メモリアルパーク、大さん橋ふ頭周辺



<お知らせ2>

海洋都市を目指す横浜が新たに開催する産・官・学連携展示会『OXExpo』11月25日(水)・26日(木)開催

出展募集中 2026年11月にパシフィコ横浜で開催!

OXExpo

Ocean Transformation Exhibition

オーシャントランスフォーメーションエキスポ

2026.11.25-26

パシフィコ横浜(横浜平和国際会議場)

主催: インフォーママーケティングジャパン(株)
後援: 横浜市、海洋都市横浜うみ博協会
同時開催: うみコン2026(海と産業革新コンベンション)
パートナーイベント: Sea Japan, Offshore & Port Tech





[横浜港におけるカーボンニュートラルポート\(CNP\)の取組](#)

OXExpo (2026.11.25-26) への出展を募集中 (資料請求はコチラから)

お問合せ先

政策調整課カーボンニュートラルポート担当課長

中村

Tel 045-671-7279



GREEN x EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷

